子ども・子育て支援新制度に関する各条例(案)に係る意見交換会の実施結果

No.	関係条例	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無
1	流山市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	その他	保育を必要とする認定について、不服申立条項も必要ではなかとと思います。	保育の必要性の認定に係る不服申立てについては、行政不服審査法に基づき異議申立てを行うことができるため、条文に定めません。	無
2	流山市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	その他	保育の短時間から長時間の切り替えは可能ですか。	保育の短時間、長時間の認定区分の切り替えは、長時間認定の要件を満たせば、変更手続きにより可能です。	無
3	流山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	第13条	実費徴収、上乗せ徴収の中身はどうなっているのか。	実費徴収は、日用品や文房具、教育や保育をするために必要な物品の購入費用、場合によっては食事を提供する費用等です。上乗せ徴収は、教員の配置数の増や、平均的な水準を超えた設備を設ければ、特別に上乗せをして徴収するものです。また、実費徴収・上乗せ徴収は、使用目的、金額等を書面で明示をし、保護者への説明と同意が必要です。特に、上乗せ徴収は、書面による同意が必要となります。	無
4	流山市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	その他	「流山市保育の必要性の認定に関する条例」について学童クラブの認定にもあてはまるのか。	流山市保育の必要性の認定に関する条例は、学童クラブへは適用しません。学童クラブの入所は、流山市学童クラブの設置及び管理に関する条例の規定に基づき指定管理者が決定します。	無
5	流山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	第11条	学童クラブの職員について。手に負えない子どもたちを保育士の資格を持っているというだけでは、対応するのは難しいのではないかと。もっと人生経験豊富な年長者や子育て経験豊富な方に参画してもらってはどうか。	学童クラブの放課後児童支援員の資格は、今回の条例の中に教員免許や保育士の資格をもち、都道府県知事が行う研修を修了したものと定めています。支援員については、高い知識と資質を有することが望ましく、様々な経験をもった地域の人材が学童クラブの運営に積極的に関わってもらうことは意義があると考えています。	無
6	流山市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	第2条	第2条保育を必要とする事由について(6)求職活動を継続的に行っていることとあるが、新しい制度になるので、これから就職しようという方はどうなのか。	求職活動の事由は、ケースバイケースであり、今の段階ではなかなか判断基準は難しいと考えています。入所の際には必ず保育課の窓口、もしくは各保育園で面接させていただくという事は変わりありません。その際、求職活動内容について面接の中でお話を伺い、保育の必要性の認定を行うことになると考えています。	無
7	流山市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	第2条	第2条保育を必要とする事由について(7)次のいずれかに該当すること ロ 職業能力開発促進法に規定する公共職業能力開発施設において行う職業訓練...について 例えば対象以外の資格を取りたいという場合や学校に行きたいというのも、そういった一時預かりを利用するしかなくて、できれば続けて通いたい方がいると思うが、そういった場合はどうするのか。	就労に結びつくような養成学校というのは、いろいろな種別ものがあります。ここで列記しているものは、法に準拠しているような施設、例えば学校教育法に基づくもの等ですが、このほかにも民間のいろいろな養成機関等があります。また、習得期間1カ月あるいは2週間ぐらいと短い内容のものがありますので、面接等で判断したいと考えています。	無
8	流山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	第11条	40人以下の一つの単位に対して放課後児童支援員の先生は2人以上とありますが、先ほどの例を挙げた話では、80人の子どもがいた場合、2つに分けて40人の子どもに2人ずつ放課後児童支援員を置くということでした。 では、60人ぐらいの学童クラブだったら、2つに分けて30人に対して2人児童支援員を配置するのか、40人と20人と考えて40人に2人置いて、20人に1人なのでしょうか。 要するに、同じ60人の子どもに対して4人の放課後児童支援員が必要なのか、3人が必要なのか。配置人数により、職員に対する人件費はどのように考えていますか。	国では、放課後児童支援員の人数は、実際の運営の中で対応すべきと考えており、50人を欠ける程度であれば、この40名の範囲内のグループとしています。ただ、どこまでが許容範囲なのかは、各市町村の判断によるとしており、本市は指定管理者による運営の中で判断したいと考えています。	無
9	流山市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	第2条	虐待や障害のある子どもについてはどのように認定をするのか、今入所している子どもが2号認定から1号認定になる可能性があるのではないかと。その子どもについてはどうするのか。	保育の必要性の認定は、基本的に条例の要件を満たしていれば、認定します。認定書の要件の中には、保育が必要であるという内容及び認定期間が基本事項として記載されます。在園されているお子さんの認定については、在園者の利用状況に不利益を与えないように配慮すること。現状では、1カ月64時間以上勤務していることを条件としています。毎年就労条件の確認をさせていただいていますので、この要件に該当しないということは在園児には考えにくいと思います。	無
10	流山市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	その他	障害のある児童の入所について 障害児童のことを健全児童と同じように、流山市は保育しているのであれば、条例の中に明記してほしい。また、加配をしても、子どもたちがきちんと集団保育を受ける権利をきちんと保障するのであれば、それは詳細ではなく方針なのだから、はっきりと条例の中で明記してほしい。	基本的には、保育所の入所要件を備えていれば、障害の有無に関わらず入所要件を満たします。ただし、療育相談等でどうしても個別の対応が必要だという場合には、「つばさ学園」等専門施設で対応する場合があります。	無